

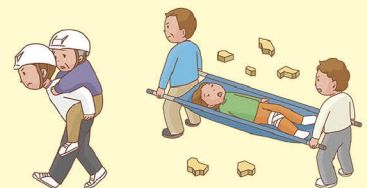


〈発行〉福生市町会長協議会 会長 撰梅 敏夫

今号の主な見出し

- 1面 連載 災害時、生き残るための防災対策 第2回「助け合う」
- 2面～4面 町会・自治会紹介
- 4面～8面 福生夏祭り特集

連載 「災害時、生き残るための防災対策」 第2回「助け合う」



日本には古くから、「向こう三軒両隣」という言葉があります。具体的には自分の家の向かい側3軒と左右2軒の合計5軒を指し、親しく交際する近くの家をいいます。集合住宅の場合は少し事情が変わってくるかもしれません。

また、「遠くの親類より近くの他人」という言葉もあり、遠方にいる親類よりも近隣にいる他人の方が頼りになる、疎遠な親類よりも親密な他人のほうが助けになるという意味です。

一方、阪神・淡路大震災の経験から次のようなデータもあります。

72時間の壁：阪神淡路大震災のデータ結果が根拠。震災発生後1日目の救出者に対する生存者の割合は74.9%、2日目は24.2%、3日目は15.1%。しかし、これが4日目になると5.4%、5日目に至ってはわずか4.8%にまで低下している。

市民による救出者3倍：阪神・淡路大震災では、被災がれきの下から市民によって救出された人は、約2万7,000人、警察・消防・自衛隊によって救出された人（約8,000人）の3倍以上であった。

災害が発生した時には、これまでの教訓から消防や行政機関等ではすぐに救助等の対応ができないことが考えられます。まず、自分の周りを整理したあと、「向こう三軒両隣」「遠くの親類より近くの他人」で助け合うことが大切です。

震災直後、私たちが生き延びて行うのは何か考えてみましょう。

- ① 家族の安否確認
- ② ブレーカーの切断（二次災害を防ぐ）、初期消火（災害の拡大を防ぐ）
- ③ ご近所（向こう三軒両隣）、避難行動要支援者※等の安否確認
 - 可能なら被災者の救出
- ④ ③などの情報の提供（市、町会・自治会「自主防災組織」）
- ⑤ 正確な情報の入手
- ⑥ 一時避難所への避難（二次災害への対応）

※避難行動要支援者……大地震、豪雨、大火災などが発生した時に、さまざまな理由で、自力で安全な場所へ避難することが困難な方



参考：もっとキキタイマガジン：72時間の壁とは何か？企業が取るべき対処法やシーン別の過ごし方

消防庁国民保護・防災部防災課：災害対応能力の維持向上のための地域コミュニティのあり方に関する検討会報告書（平成21年3月）

3つのテーマから町会・自治会の活動を紹介します

支えあい

- ◆安全・安心を支える活動
(防犯パトロール、防災訓練など)
- ◆子どもたちの健全育成に取り組む活動
(あいさつ運動、声かけ運動など)
- ◆まちを美しくする活動
(町内清掃、花いっぱい運動など)

うるおい

- ◆地域住民の健康づくりを進める活動
(運動会、ラジオ体操など)
- ◆福祉に関する活動(敬老会、募金活動など)

にぎわい

- ◆イベント活動
(夏祭り、盆踊り、もちつき大会など)

今号の町会・自治会



自主防災訓練で応急救護を学べます。

熊川住宅自治会は福生の一帯にあり、主な活動は、月一回の資源回収(古新聞)、月二回の防犯パトロール、春秋の植栽、年一回の団地内一斉清掃を6月に行っています。8月にはふれあい広場という小規模な祭り、9月の敬老の日には70歳以上の方に記念品を配布します。秋の自主防災訓練では煙ハウス体験やAEDの取り扱い訓練を行い、本当にその現場に立ち会ったときに体が動くのではないかと思います。

支えあいにぎわい

活動も和気あいあい

① 福生熊川住宅自治会

会長 中村 弘



緑豊かな公園で朝のラジオ体操

熊川住宅も高齢世帯が多くなり、前にはできた行事ができなくなっています。大きい公園でやっていた夏祭りも餅つき大会も若い人の減少でできなくなりました。餅つきの替わりに市販のお餅を全会員に配り、ふれあい広場も焼き鳥・焼きそばの屋台を出し、ビンゴ大会を行う等、皆さんが楽しめるように行いました。

熊川住宅は緑も多く、近くに南公



植栽で住宅内を彩り豊かに

このうち、ほたる祭については令和元年の第54回の開催を最後に、ピリオドをうちました。はじめは町会員の楽しみの行事でしたが、回を重ねるごとに福生の三大祭と言われるほど規模も大きくなり、祭りを楽しむ対象者も変わってきてしまいました。来場者3万人の祭りの開催に当たり、町会の会員数の減少、会員の高齢化の中で企画・準備・実施・片付け等々、一町会で運営するには限界を超えてしまったことがピリオドをうった大きな要因です。

幸いにも、令和6年度から市のほたる祭として新しい形でスタートをしてみたいと思っています。盛り上げていきたいと思っています。

にぎわい

町会一大行事

② 熊川牛浜町会

会長 小林 陽一

熊川牛浜町会では、6月から8月にかけて、ほたる祭、夏祭り、納涼踊り大会と大きな行事を実施してきました。

園があつて住みやすいところです。自治会の活動も皆と協力し、和気あいあいとやっています。

今年の夏祭りは熱中症に最大限の努力を注ぎ、安全な祭りを目標に実施しました。夜宮では牛浜駅北口で近隣3町会の神輿・山車の競り合いをはじめ、模擬店、カレーライスのふるまい、大抽選会で子どもから大人まで大いに盛り上がりました。本宮では熊川げんき広場での神輿・山車の競り合い、町内巡行を通し交流・親睦を深めました。



熱気に満ちた山車・神輿の競り合い

納涼踊り大会は、町会区域内にお住いの子どもからお年寄り300人以上が集う行事です。踊りの指導者はお年寄りで、櫓(やぐら)を中心に二重の輪ができます。そしてフランクフルト・焼きとり・焼きそば・スパークボール・ボールくじ・生ビール・焼酎水割りの模擬店が並びます。最後は子どもたちの花火大会です。



最後は子どもたちが待ちに待った花火大会



櫓を中心に華やかな踊りの輪

他にも防災バス研修、町会主催の敬老会、町会防災訓練、毎月の資源回収等々の行事を通して地域のつながりを強くし、老若男女を問わず安心して暮らせる地域づくりを進めています。

支えあい・にぎわい

志茂二町会の一年

③ 志茂第二町会

会長 伊藤 弘大

志茂二町会は福生市の中心にあります。そのおかげで以前から活動が活発で、神輿会・囃子連・青少年・老人会など様々な団体が活動を行っています。

今回、町会主導の活動を中心に、この一年行ってきた事を紹介します。町会定例総会は、4月6日に行い、令和5年度の事業報告と令和6年度の事業計画を承認して頂きました。



定例総会の様子

春の交通安全運動立哨には、延べ220名の町会の皆様が参加しました。(秋も同様に行います。)



青空の下で資源回収

資源回収は、7月を除く毎月一回実施しています。回収する資源は空き缶・ペットボトル・新聞・雑誌・段ボールです。(4頁につづく)



毎月実施のパトロール

防犯パトロールは、毎月1回月初め土曜日午後8時から行っています！



交通安全運動の詰所

盆踊り大会は、7月13日に志茂公園で踊りの会の皆様と子供たちも交えて行いました。



志茂公園の盆踊り大会

福生七夕まつり民謡パレードに、志茂二町会として踊りの会の皆々と町会三役で参加しました。



踊りの練習！



七夕で成果を披露

夏祭り・八雲神社祭礼は、盛大に行われました。詳細は「福生夏祭り特集」で！

ここからは前年度後半の活動です。

餅つき大会兼賀詞交歓会は1月14日に開催し、多くの町会員の皆様に参加頂きました。

防災研修兼町会日帰り旅行は2月25日、本所防災館で防災研修を行いました。全員で防災体験を行い、終了後、浅草で昼食・スカイツリー見学をしました。



餅つき大会



本所防災館にて

その他、秋には七五歳以上の方に敬老記念品の贈呈を行いました。また春・秋の募金集金活動などを町会主催で実施しました。

今後も町会主導の各活動を継続し、この時代に似合った町会活動を模索し活性化していきたいと思っています。

町会員の皆様をはじめ、その他応援して頂いている皆様、今後とも指導、ご協力をよろしくお願い致します。



7月27・28日 福生夏祭りが開催されました！





夏祭り特集 ～編集委員が準備・当日をレポート～

【準備編】

南田園一丁目町会

令和6年の夏祭りは、町会ヤグラの更新から始まりました。これは、令和7年度に町会設立45周年を迎えることに伴い1年前倒しで更新したもので気持ちも新たにヤグラ組立を行い、組立完成後は、参加者全員で今後の安全を願い安全祈願を行い、夏祭りがスタートしました。



新しいヤグラの組み立て模様



組みあがったヤグラ



安全祈願の備え



宮司による安全祈願



夏祭り本部テント



緊急連絡先及びAED

志茂第二町会

夏祭り特集

【準備編】(つづき)

6月23日、30日祭礼花作り

町会三役区長・各種団体・隣組長・町会員の皆さんと2日間花作りを行いました。



7月7日舞台掛け

町会の多くの皆さんで舞台・花掛け場の作成を行いました。これが大変!!



↑ ↓ 舞台



↑ ↓ 花掛け場



↑ 給排水設備



↓ 電気設備



神輿の担ぎ方練習

拍子に合わせて、本番までに息ピッタリを目指します!



永田町会

夏祭り特集

【準備編】(つづき)

永田町会では、祭礼のたびに樽神輿を組み立てます。その樽神輿づくりを紹介します！

担ぎ棒に樽設置（樽の箍は外して針金で補強してあります）



神輿の飾りを巻き直し（新品サラン使用、しめ飾りも巻き直し）



コモ巻きつけ（樽上部はコモで化粧、胴体は下地の上に新品のコモ）



しめ飾り巻きつけ



提灯等を飾って完成



本町第七町会

7月21日(日) 午前8時に集まり神酒所作りをお昼ごろまで暑い中休憩を取りながらやりました。参加人数は25名です。祭礼終了後の解体作業は、29日(月) 午前8時から行います。

参加者が熱中症を発症した場合は、直ぐに対応できるよう巡行に祭礼車が帯同します。



夏祭り特集

【当日編】

《裏方さんも大活躍》



多くの方々の協力で

←今回は、役員の他ブロック委員、地元中学生、青少年ブロック委員、福寿会の多くの方々の協力を戴きました。
(南田園一丁目)

賄い 夕食の提供

宵宮夕食 牛丼!! 本宮 キーマカレー!!
おいしかったです!!
↓ (志茂第二)



《子ども達も大喜び》

新しいヤグラ



新しいヤグラで太鼓を叩いて楽しめました。
← (南田園一丁目)

子ども達にアイスの配布!



↑こんなにたくさんいたのか!!
大人にアイスは回ってこない!!
(嬉しい悲鳴 志茂第二)

《巡行先も大歓迎》



↑神輿の巡行途中にある老人施設では、入居者の方々が玄関前で出迎えてくれて、和やかな雰囲気でお交流が図れました。
(南田園一丁目)

そして競り合いも最高潮に!!



皆の思いのこもった夏祭り。今年も盛況のうちに幕を閉じました。



編集委員
田村 宏彦
細谷 満広
小川 肇
伊藤 弘大
鷲東 和美



←町会・自治会加入申込はコチラ

連載第2回「助け合う」では、発災時に隣近所がいかに重要な存在か、地域の関係強化がいかに大切かを伝えし、夏祭り特集では、華やかな舞台が整うまでの準備や当日の裏方にもスポットライトを当てました。どちらも興味深くお読みいただければ幸いです。

編集だより

広告掲載スペース